

旧美術館の思いを受け継ぎ、 新たなアートの地平を目指す

時代を切り拓く「アート」の「ホライゾン（地平）」を感じてほしいと名付けられた東京・京橋の「アーティゾン美術館」。その歴史と魅力をご紹介します。



3階から5階までの吹き抜けによる大空間。外からも広く見通せ、街とのつながりを演出。



左 ポール・セザンヌ
《サント=ヴィクトワール山とシャトー・ノワール》
1904-06年頃 油彩・カンヴァス
石橋財団アーティゾン美術館蔵
筆触が面となりリズムを刻むような画面が特徴的。現在と次回展覧会で展示予定。

右 メアリー・カサット
《娘に読み聞かせるオーガスタ》
1910年 油彩・カンヴァス
石橋財団アーティゾン美術館蔵
近年注目される印象派の女性画家の一人、メアリー・カサットの母子像。次回展覧会で展示予定。



東京駅から徒歩圏内の高層ビル「ミュージアムタワー京橋」の1~6階に位置する。



「ABSTRACTION 抽象絵画の覚醒と展開」
は8月20日(日)まで開催中。本作品も展示。
フランティセック・クプカ《赤い背景のエチュド》
1919年頃/石橋財団アーティゾン美術館蔵

ぎ、2020年1月に誕生したアーティゾン美術館。建物の1階から6階までを使った空間は、広々として天井も高く、大型の絵画や天井から吊り下げられるような立体作品にも対応しています。オリジナル開発した高品質のLEDスポットライトや、継ぎ目のない横幅15mの高透過合わせガラスなど、鑑賞に理想的な環境作り

も配慮がなされています。

また美術館の姿勢として高く評価されているのは、これまでの収蔵品を補充するカタチで、コレクションの拡張が図られていることで、現在では約3000点を所蔵しています。例えば、西洋近代絵画では近年注目が集まる、印象派の女性画家たちの作品の収集に力を注いでいます。そんな新旧のコレクションと、国内外から出品された重要な作品を合わせて鑑賞できる展覧会はアートファンにとって大きな喜びになるでしょう。

現在開催中の展覧会「ABSTRACTION」と9月9日から開催の「山口晃ここへきてやむに止まれぬサンサンオン」ではセザンヌの同じ作品も出品されますが、一つの作品が展覧会のテーマや新たな切り口、展示方法によってどのように違った印象をもたらすのか。何度でも通い、確かめたいくなる美術館です。



青木繁《海の幸》
1904年 油彩・カンヴァス
石橋財団アーティゾン美術館蔵
重要文化財

坂本繁二郎ら友人と写生旅行に出かけた千葉県館山で制作された青木繁の代表作。坂本からの要望を受け、石橋正二郎が生前に収集した日本近代洋画の一つ。
※本作品は所蔵品です。展覧会のテーマによって今後展示予定。

同郷の青木繁の作品が コレクションの転機に

東京駅からも徒歩圏内という、都心の一角に建つアーティゾン美術館。前身のプリヂストン美術館は、実業家の石橋正二郎の個人コレクションが発端です。

石橋は戦前から絵画の収集を始めました。当初は自邸を飾ることが目的でしたが、1930年に転機を迎えます。それは高等小学校時代の図画の教師だった洋画家・坂本繁二郎との再会。坂本は早世した友人、青木繁の作品が散逸するのを惜しみ、「作品を買い集めて美術館を建ててもらいたい」と伝えたのです。

青木の主要作品が集まるにつれ、コレクションとして見せるには、その作品に影響を与えた過去の名画なども集めて展示すべきではと考え、印象派を中心とする西洋の近代絵画の収集にも注力しました。

戦後、プリヂストンタイヤの本社ビルを東京に建設中、石橋は「ニューヨーク近代美術館(MOMA)のように、交通の便利な都心にあり、誰もが気軽に訪れることができる美術館を構想し、開館しました。

訪れるたびに作品の
新たな魅力に触れる
旧プリヂストン美術館の思いを受け継

お楽しみ周辺SPOT 将軍の愛した庭園と東京のローカルフードを堪能

浜離宮恩賜庭園は、徳川将軍家ゆかりの江戸期を代表する大名庭園。潮の干満によって趣を変える「潮入の池」と二つの鴨場があり、風情ある景色や四季折々の花も楽しめるなど散策に最適です。近隣のおすすめグルメは、ゆるく水溶きた小麦粉に具材を混ぜて鉄板で焼き、熱々をいただく「もんじゃ焼き」。月島には「もんじゃストリート」と呼ばれる一角があり、数十店が軒を連ねています。



浜離宮恩賜庭園
◎ 浜離宮恩賜庭園サービスセンター
TEL.03-3541-0200



もんじゃ焼き ©TCVB

アーティゾン美術館

住所 東京都中央区京橋1-7-2
電話 050-5541-8600 (ハローダイヤル)
料金 展覧会により異なる(日時指定予約制)
開館 10:00~18:00(祝日を除く金は20:00まで/入館は閉館の30分前まで) 月休(祝日の場合は翌日休)、展示替え期間・年末年始休
交通 JR東京駅より徒歩5分、東京メトロ銀座線京橋駅より徒歩5分
HP <https://www.artizon.museum/>

【次回展覧会】
9月9日(土)~11月19日(日) ジャム・セッション
石橋財団コレクション×山口晃「ここへきてやむに止まれぬ サンサンオン」